

**製品名:** リン酸化 TAK1 (Thr187) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00589

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 67 kDa; Observed MW: 60 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP3K7
別名	MAP3K7; TAK1; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 7; Transforming growth factor-beta-activated kinase 1; TGF-beta-activated kinase 1
遺伝子 ID	6885
SwissProt ID	O43318
免疫原	抗血清は、Thr187 のリン酸化部位周辺のヒト MAP3K7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

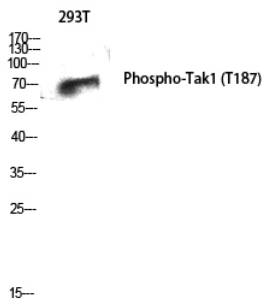
**背景**

タンパク質キナーゼシグナル伝達カスケードの構成要素。TRAF6 および TGF- $\beta$  シグナル伝達のメディエーター。TRAF6 シグナル伝達に  
応答して IKK $\beta$  および MAPK8 を活性化する。NF- $\kappa$ B 活性化および p38 MAPK 経路を刺激する。浸透圧ストレスシグナル伝達にお  
いては、MAPK8/JNK の活性化に主要な役割を果たすが、NF- $\kappa$ B の活性化には関与しない。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



Phospho-TAK1 (Thr187) 抗体を使用した 293T 溶解物中の Phospho-TAK1 (Thr187) の  
ウエスタン ブロット分析。